

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年11月30日

施設名	美術館	所管課	文化生活スポーツ部文化国際課
-----	-----	-----	----------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	高知市高須353番地2		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示 ・美術に関する専門的な調査研究 ・美術に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・美術品等の展示のための県民ギャラリーの提供 ・音楽、演劇等の鑑賞のためのホールの提供 ・上記のほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p><建物> 延べ床面積:11,723㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地上3階建 <土地> 15,912㎡ 駐車場 144台 <主要施設> 常設展示室、企画展示室、石元泰博展示室、県民ギャラリー、講義室、創作室、ミュージアムショップ、レストラン、美術館ホール(399席)など <開館時間> 午前9時～午後5時(ホール、リハーサル室及び楽屋は午前9時～午後10時) <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般370円・大学生260円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 県民ギャラリー22,240円(1日)、企画展示室55,630円(1日)ホール37,770～96,200円(1日)</p>		
職員体制	常勤職員: 13人	契約職員: 12人	非常勤: 1人 合計: 26人

※職員数は令和5年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
収入	県支出金	316,171	344,745	356,394
	事業収入	37,228	51,719	55,596
	その他	37,053	55,055	26,939
	収入計	390,452	451,519	438,929
支出	事業費	393,146	434,364	438,929
	(うち人件費)	(123,192)	(135,807)	(123,098)
	その他	0	0	0
	支出計	393,146	434,364	438,929
収支差額(a)-(b)		-2,694	17,155	0

3 利用状況

		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)		前年度比較
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	常設展	5,989人	常設展	4,967人		- 1,022人
	企画展	19,624人	企画展	26,419人		+ 6,795人
	美術館ホール	2,605人	美術館ホール	3,299人		+ 694人
	小計	28,218人	小計	34,685人		+ 6,467人
	貸館	18,139人	貸館	24,585人		+ 6,446人
	貸館(ホール)	19,567人	貸館(ホール)	32,099人		+ 12,532人
	県民ギャラリー	69,896人	県民ギャラリー	30,869人		- 39,027人
	小計	107,602人	小計	87,553人		- 20,049人
	合計	135,820人	合計	122,238人		- 13,582人
<利用実績>						

② 利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)
	・通年を通して館内に据え置き型のアンケートを設けており、備え付けの箱に入れてもらっている。職員全員で回覧すると共に、レストランや貸し館の主催者にも伝達し、改善策を検討している。
	○ 利用者意見等を踏まえた対策
	・グッズ売り場とチラシ売り場が隣り合わせで、チラシをゆっくり見れないというご意見から、チラシ置き場を1階県民ギャラリー前に移動した。
	・男性トイレの中が廊下から見えてしまうというご意見から、ついたてを用意し、中が見えないようにした。
③ その他特記事項	

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・建物や設備の中には開館以来のものも多数あるが、年次計画を策定し建物・設備の管理・更新を計画的に取り組んでいる。 ・危機管理に関しても、館職員で構成する危機管理部会を定期的開催し、災害時の体制や対応方法、不審者対策、マニュアルの見直しを行うなど、適切な管理運営がとられている。
②利用者サービスの維持向上	・来館アンケートによるご意見の反映や、主催の展覧会ごとに受付スタッフ等職員向けのギャラリートークを実施し、職員全体の展示作品や作家に対する知識の習得を図るなど、利用者サービスの向上に努めている。
③利用実績	・観覧者数は前年度より回復したが、長引く新型コロナウイルスの影響が続く中で、目標人数(要求水準)として設定していた年間5万人を達成することが出来なかった。高齢者の来場割合が増加傾向にある。 ホールの利用件数は、新型コロナウイルスの影響により7件(前年度44件)中止となったもののコロナ前の水準にまで回復している。
④収支の状況	・外部資金の獲得を積極的に行い、総額39,657千円を獲得するなど、収入増加に取り組んでいる。 ・競争入札による燃料灯油の価格決定や、空調温度管理の徹底(省エネ)の取り組み、インターネットを活用したチラシ作成やSNSを活用した情報発信など、継続的な経費縮減に取り組んでいる。
総合評価	<p>・企画展では、多様な年代やジャンルを計画的に実施し、関連企画も開催するなど来館者の拡充に努めている。</p> <p>・常設展では、二大コレクションであるシャガールと石元泰博氏の作品について、日頃の調査研究を元に魅力的なテーマを複数設定し、紹介することが出来ている。</p> <p>・ホールの自主事業としては、国内外を問わず、創造的で質の高い舞台芸術の招致に取り組んでおり、県内各地で文化芸術活動を展開するなど、高知県の中山間地域を意識した取り組みが出来ている。</p> <p>・教育普及活動に関しては、企画展等に関連したワークショップや講演会のほか、地域や学校と連携する取り組みを行うなど、子どもたちが芸術・文化に触れる機会を継続的に創出している。</p> <p>・貸し館としては、県内の美術愛好団体や個人、教育関係者などが創作活動の成果を発表する場として提供が出来ている。</p> <p>以上の事から、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの